

農業の大変さと素晴らしさを子どもたちに伝えるにはどうすれば...

# 議員活動

# ふりかえり特集!

奈良のいいとこみつけるウォーキングをしたことも...

議会では積極的に質問しています!

◆公民館廃止計画とふれあい会館への移行について  
 →教育長の考えを問う

◆公民館の廃止を案案にも関わらず飛鳥地区に接決定事項と伝えたことについて  
 →市長に問う

(飛鳥自治協議会提出の「市公民館を中止し現公民館の存続を求めます」なる)

市政報告会で市民の皆さんに市政の問題や課題をわかりやすくお伝えしています。

街で見かけたら、ぜひお気軽に声をかけてください!

陸上部で鍛えたこの足で市民のために走ります!

年4回発行の議会活動レポートを、できる限り自分の足で市民の皆さんにお届けしています。

住みよく居心地の良い奈良市へ!

奈良市議会議員 日本維新の会奈良市議団所属

## 佐野 かずのり

# 議会活動レポート 総括版

佐野かずのりプロフィール 昭和43年6月1日、奈良市南紀寺町生まれ。飛鳥幼稚園、飛鳥小学校、春日中学校、高円高等学校(同窓会高志会会長)、帝塚山大学卒業後、コロネット(株)入社。営業・生産企画に携わり、30年間勤めたコロネット(株)を令和3年3月退社。同年7月に奈良市議会議員選挙に立候補し初当選。市議4年目。市民環境委員会・議会運営委員会・行財政改革及び公共施設等検討特別委員会。

## 取り組み

# 1

## 公民館廃止計画→見直し→計画撤回

2023年には、奈良市が24ある公民館を6つに集約する計画を進めていることが明らかとなりました。最初に廃止されようとしたのが私の地元である飛鳥地区の公民館(右写真)でした。地域から要望があった地域ふれあい会館の新設と引き換えに公民館を廃止するというのです。

**公民館は市民が戦後得た社会教育と生涯教育の場**です。公民館が廃止されれば、飛鳥地区の住民は地域の社会教育の拠点である公民館を失い、**これまで培ってきた生涯学習のノウハウや機会が大幅に失われかねません**。そもそも市長が行財政改革と称して教育に口出しすることには違和感を感じます。そこで私は、飛鳥地域自治協議会の会長と他8名の方々から令和5年(2023)8月29日に提出された「市立飛鳥公民館の廃止計画を中止し現公民館の存続を求める請願書」の紹介議員を引き受け、観光文教委員会で同請願の趣旨を説明させていただきました。**地域住民の声を聞かず計画を一方向的に進めるようなやり方・プロセスのあり方について現在も特別委員会で審議が継続しています。**

なおこの問題については、令和5年(2023)9月議会で私以外からも会派を超えて反対や疑問の声が相次ぎ、議会後の記者会見で市長が撤回を表明しました。

私は**公共施設改革についてはトップダウンによる一方向的な計画の押し付けではなくボトムアップで進めることが重要**だと考えます。公民館と地域ふれあい会館のあり方については今後も注視していきたいと考えています。



2023年12月1日付け奈良新聞

**廃止ありきの利用者を無視したやり方には反対。改革の中心となるべきは社会教育のプロのいる生涯学習財団であるはず。**



## 取り組み

# 2

## 食と農の連携、まずは給食による地産地消を進めよう！

「食」を支えるうえで、米や野菜の生産、つまり「農」は絶対に不可欠です。奈良市においては市内の収量だけで自給自足が可能なわけではないものの、人口分の収量は相当量得られていますから、学校給食は行政が直接関わり食と農の連携を実現できる分野だと思います。

令和6年(2024)9月議会で教育部長が私の質問に答えたところによると、**学校給食における奈良県市産農産物の使用割合は2023年度で47.1%、米は2016年1月から全量が奈良市産**とのことでした。

米については給食会から安く仕入れているそうです。この給食会の仕組みは参考になると思います。例えば奈良市が米以外でもこの給食会の仕組みを取り入れ、流通経路を独自で確保できれば、市場の影響を最小限に抑えられ、安定した食材の確保や地産地消の取組にも寄与するのではないのでしょうか。

**大阪府泉大津市では「四方よし」の官民連携で慣例を打破し、市が産地から直接米を買い取る新たな流通経路を構築して供給量と農家の収入の両方を安定させる仕組みにした**といっています。奈良市でもぜひ市をあげて食と農の連携を密にしていきたいと思っています。



DATA

### 議案提出

議員報酬削減議案 (令和4年3月)  
議員定数削減議案 (令和5年9月)

### 議案修正案提出

令和7年度一般会計予算修正議案 (令和7年3月)

### 請願書紹介議員

市立飛鳥公民館の廃止計画を中止し  
現公民館の存続を求める請願書

### 任期中質問回数

定例会代表質問 4回

### 定例会個人質問

12回

### 臨時会

1回

### 観光文教委員会

7回 (令和3年8月～令和5年6月)

### 総務委員会

4回 (令和5年6月～令和6年6月)

### 市民環境委員会

4回 (令和6年6月～)

### 行財政改革及び公共施設等検討特別委員会

10回 (令和5年12月～)

### 予算決算委員会総括質疑

1回 (令和5年3月)

### 予算決算委員会分科会

8回 (令和3年8月～)

### 定例会・臨時会討論

2回 (令和4年9月・令和5年5月)

### 附帯決議への質疑

1回 (令和7年3月)

### 委員会

観光文教委員会

観光文教委員会

総務委員会

市民環境委員会

行財政改革及び

議会運営委員会

広聴広報委員会

奈良国際文化館

## 取り組み

# 3

## 奈良のシカ問題、生活被害の実態把握を！

2023年10月に鹿苑でのシカ虐待疑惑が全国的に注目されました。問題となったのは、保護地区とシカを駆除できる管理地区の間に設けられた緩衝地区で捕獲されたシカの扱いです。緩衝地区は広大で市街地から東部の山林まで含まれますが、この地区で捕獲されたシカは駆除することも山林に戻すこともできないので寿命まで飼育し続けるほかありません。

一方で**近年シカの行動範囲が広がったことで生活被害が拡大し、一般市民が困っています**。令和5年(2023)12月議会で私は市街地でもシカによるフン害・植栽被害・ヤマビルの被害があることを取り上げました。奈良公園にいてこそその神鹿であり**野生化したシカに関しては他県と同様鳥獣害動物としての対応が望ましい**と考えます。今後の保護のあり方を考える前提として、市が緩衝地区での農業関係以外の被害調査を実施することが必要と思います。



## 取り組み

# 4

## 誰も他人事ではない、「おひとりさま」問題

令和6年(2024)6月議会では単身高齢者の問題、いわゆる「おひとりさま」問題を取り上げました。周囲の人々との人間関係の希薄化や家族の小規模化に伴い、必要な支援を身近な人から受けられない、**こうした高齢者の課題について、地域で支援する体制や仕組みを検討し、家族がいてもいなくても家族以外の人に頼ることができるという選択肢が一般的になること、そしてそれらを支えるための社会の仕組みが確立されることが必要だ**と思います。現在既婚者であっても様々な理由で単身高齢者となることは少なくありません。本市においてもエンディングノート(右写真)の配布を行うといった取り組みがなされていますが、加えて死後事務委託契約や任意後見契約、財産管理等委託契約、遺言書の作成などの重要性を周知していく必要があります。そのために、終活相談窓口の設置など奈良市としてもより積極的な取り組みが求められています。



## 取り組み

# 5

## ポイ捨て問題、ゴミ箱の設置も必要では？

私は月に一度ボランティアの方々と清掃活動を行なっています(次頁)。その中で、**自販機に空き缶入れを設置することが条例で義務付けられている美化促進重点地域に空き缶入れがない自販機が多い**ことに気がつきました。

私の働きかけで2025年1月末に奈良市が調査したところ、設置率が2割ほどしかないと判明しました。このことは新聞記事ともなりました(右写真)。条例の周知が必要です。

清掃活動をしているとポイ捨てされたタバコの吸い殻の多さにも驚かされます。そこで令和7年(2025)3月議会では、**路上喫煙禁止とセットで喫煙所を設置することを提案**しました。タバコを吸える場所で吸い殻も捨てられるようにするためです。

2025年1月、奈良県は40年ぶりに公共ゴミ箱を設置するテストをしました。奈良市も国際観光都市として公共ゴミ箱の設置を考えるべきではないでしょうか。



2025年3月15日付け  
読売新聞

## 日本維新の会 身を切る改革、維新だからできる。

- (令和3年8月～令和4年6月) 副委員長
- (令和4年6月～令和5年6月)
- (令和5年6月～令和6年6月)
- (令和6年6月～)
- 公共施設等検討特別委員会
- (令和5年12月～)
- (令和4年6月～令和5年6月・令和6年6月～)
- (令和3年8月～令和4年6月)
- 観光都市建設審議会 (令和6年10月～)

令和4年3月に提出した議員報酬削減議案で私たちは日本維新の会奈良市議団は議員報酬の2割削減を主張しました。この議案は否決されましたが、私たちは議員報酬の2割に相当する額を県単位で党に預け、市議会議員が奈良市に寄付することはできないため、預けた報酬を被災地への寄付に充てています。



吉村大阪府知事と



## 新斎苑問題、続く奈良市の不誠実な対応

令和5年(2023)5月10日、「奈良市新斎苑用地取得費用に関する損害賠償事件」について、奈良地裁の示した和解案を受け入れることを奈良市議会が可決しました。**奈良市は新斎苑用地を鑑定評価額を大きく上回る金額で取得したことにより約1億1600万円の損害を被りました。**和解案はこのうち6000万円のみを仲川奈良市長と元地権者が折半して支払うよう求める内容で、8600万円の損害賠償権(遅延損害金含)を放棄するものでした。私は奈良市民の財産を放棄するに等しいこの和解に反対しましたが、力およびず可決されてしまいました。

その後**奈良市は、住民訴訟で勝訴した原告側弁護士に奈良市が支払うべき弁護士費用を支払わず、**2025年4月には住民訴訟原告団の代表が抗議声明を奈良市に提出しました。不誠実な対応が続いています。今後の動向を注視する必要があります。



ピラを作成して和解の問題点を訴えましたが、力およびず残念な結果となりました。



## 農への思い

子どもたちに農業の大変さや素晴らしさを伝えるため農業体験イベントなどを開催しています。町なかの農地(生産緑地)は学びの場としても大切な存在だと思います。その思いが奈良市の市民農園開設補助金として形になりました。市民の農業への理解促進へとつながる市民農園の開設を支援する補助金です。上限を30万円として開設費用の1/2が補助されます。奈良市のウェブサイト(右QRコード)に申請方法など詳細が記載されています。

ぜひご活用ください!



## グリーンアップ大作戦

毎月第3土曜日に清掃活動を行っています。詳細はページ下の連絡先までお問い合わせください。皆さまのご参加をお待ちしています。

前頁のポイ捨て問題はもちろん、私にとっては町の問題や課題に気づく機会ともなっています。



皆さまのお声をお聞かせください。奈良市政へお届けさせていただきます！  
タウンミーティング等で依頼がありましたらお伺いいたします。お困り事ご相談、お気軽にご連絡ください。



佐野かずのり  
本人携帯番号

090-3058-3082

いつでも  
どうぞ!



佐野かずのり事務所 〒630-8303 奈良市南紀寺町1丁目234-1 TEL/FAX 0742-93-5364

佐野かずのりの議会活動については奈良市議会ホームページもご覧ください。議会中継(録画)は右QRコードから。  
<https://www.city.nara.lg.jp/site/narasigikai/>



佐野かずのりの活動は右QRコードからぜひご覧ください。  
<https://lit.link/sanokazu-nori>

